

特集

水再生センターの水質検査

水再生センターでは家庭や工場から排出された汚れた水（汚水）を浄化（再生）し、川や海へ放流しています。

● 日常試験

各処理工程（最初沈殿池、生物反応タンク、最終沈殿池）の水質検査を毎日行い、汚水の浄化（再生）の状態を管理しています。その結果を運転管理に反映させ、よりきれいな水質での放流に努めています。

● 放流水の水質検査

月2回以上の頻度で、放流水の水質が、法令に定められた水質基準に適合していることを確認しています。



下知水再生センター

汚水処理の仕組み

最終沈殿池

汚れを食べた微生物は重くなって汚泥となり、沈殿します。きれいな上澄み水は消毒施設へ送られ、川や海へ放流します。

消毒施設で残った大腸菌などを滅菌

生物反応タンク

小さな泡状の空気を吹き込むと、空気で活性化した微生物が、汚れをどんどん食べてくれます。高度処理では、この過程でチッ素、リンの除去を行います。

最初沈殿池

まずは汚水をゆっくり流し、大きな汚れを沈殿させ、取り除きます。

家庭などからの汚水



※BODとは、水の汚濁状態を表す指標の1つで、水中の微生物が必要とする酸素の量。数値が低いほどきれいな水であり、放流水の法令基準値は日間平均15mg/l以下となっています。

水再生センターからの放流水はともきれいななっているんだね。



下水道マスコットキャラクター「スイスイ」

蒸発

水再生センター

下水道管

水道管